

今日から9月が始まりました。

すでに2学期は2週間経ちましたが、この2週間はとても暑い中の登下校でした。その間、全校のみなさんが、熱中症にかかることもなく健康で過ごすことができ、とてもよかったと思っています。

これからも残暑は厳しいと思います。こまめな水分補給をして、健康に過ごしていきましょう。

さて、今日は、校長先生が心配していることとお願いについてお話します。

今、皆さんは、学校で、マスクをしたり、手をよく洗ったりして生活しています。そして、毎朝、体温を測って、健康観察カードを提出し、自分自身が具合が悪いという時だけではなく、一緒に住んでいる家族の中に具合が悪い人がいる場合も、学校を休んでもらっています。

これは、すべて新型コロナウイルス感染症の感染を広げさせないために、一人一人が頑張っていることです。

新型コロナウイルス感染症にかかると、風邪やインフルエンザの症状に似た症状が出るそうです。発熱だったり、咳が出たり、ただ、感染した人のほとんどの人が、症状が出なかったり、軽い症状で済んだりするそうです。

だからこそ、もしかしたら、自分が新型コロナウイルス感染症にかかっているかもしれないので、全員がマスクを付けて生活しているのですね。

今現在、柏原小学校では感染したという報告はありませんが、全国のいくつかの学校で子供や先生や保護者の方々が感染してしまった学校があります。

その学校では、とっても辛い思いをしてしまう人がいるというニュースがありました。

コロナに感染し、保健所から登校してもいいですよと許可が出て、久しぶりに学校に来た時に、友達から「コロナにかかっていたの？」と言われてたり、

陰で「あいつとは遊ぶのをやめよう」と言われたり、

「あの先生はコロナにかかったから、そばに行かない方がいいよ」などなど

せっかく元気に登校できるようになったのに、とっても嫌な辛い思いをしている人がいるそうです。

この点がとても心配なことです。

新型コロナウイルス感染症に感染することは、決して悪いことではありません。

感染することが悪いという雰囲気が出来てしまうと、新型コロナウイルスに感染したことを疑われることをつい恐れてしまい、具合が悪くても、無理に学校へ来てしまったり、病院にも行くのが遅くなってしまったりして、逆に感染を広げてしまうことにつながります。

そして、お願いです。

今のみなさんのように、感染症予防の対策をしっかりととりながら生活している人が、もしも、感染しても、その人を攻めてはいけません。陰で変な噂話をしてはいけません。

そういったことが差別やいじめとなります。

冬にはやるインフルエンザにかかった人に対して、そのような差別やいじめをする人はいませんよね。

差別やいじめは絶対に許しません。

普通、病気にかかった人に対しては、どんな気持ちになりますか？ それが身近な家族や友達だったら、きっと「早く治ってね」って思うのではないのでしょうか。

もう一度言います。

誰もが新型コロナウイルスには感染する可能性があります。

感染した人が悪いということではありません。

差別やいじめは絶対に許しません。

これからも柏原小学校のみなさんは、
家族のこと、友達のこと、学級のこと、学校のことを大切にできるみんなでいてください。そして、笑顔あふれる柏原小学校にみんなの手で創りあげていきましょう。

今月の26日には、運動会があります。午前中だけの運動会となりますが、56年生の高学年のみなさんをリーダーに、中身の濃いものにしていきましょう。

今から皆さんの活躍を楽しみにしています。

終わります。